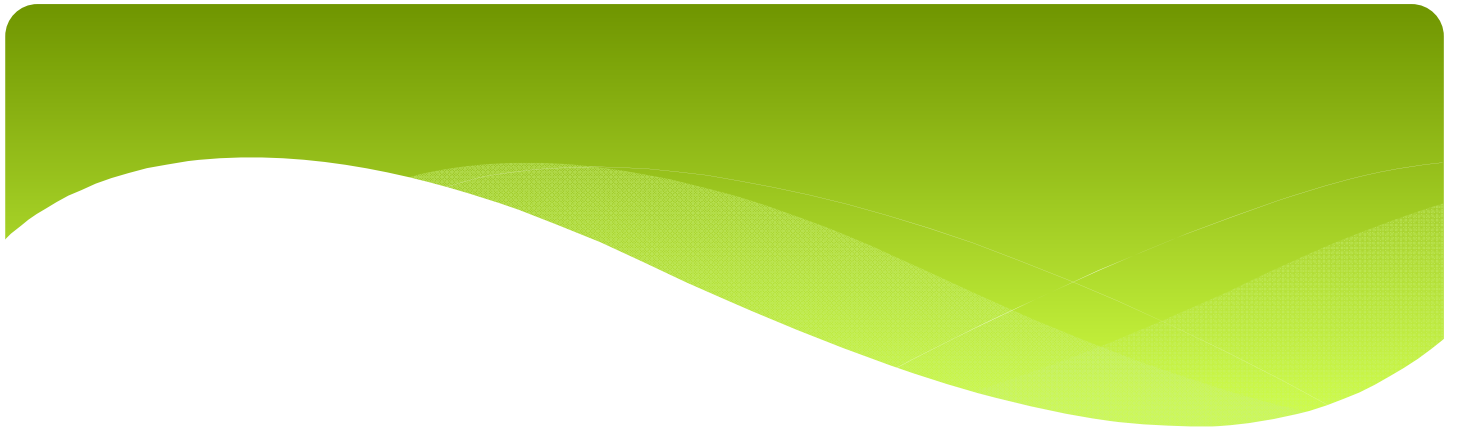


平成26年度(2014年度)  
バリアフリー・ユニバーサルデザイン  
推進功労者表彰

受賞事例集



内閣府



# 目次

- 刊行にあたって・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 選考委員会委員長講評・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 内閣総理大臣表彰（1件）  
（団体）  
和歌山県立博物館施設活性化事業実行委員会・  
和歌山県立博物館・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 内閣府特命担当大臣表彰  
優良賞（3件）  
（個人）  
藤野 稔寛 殿・・・・・・・・・・・・・・ 4  
  
（団体）  
株式会社 電制・・・・・・・・・・・・・・ 5  
日本ブラインドサッカー協会・・・・・・・・・・ 6
- 奨励賞（2件）  
（団体）  
大口市立大口南小学校・・・・・・・・・・・・・・ 7  
てまるプロジェクト・・・・・・・・・・・・・・ 8
- 過去の受賞事例・・・・・・・・・・・・・・ 9
- バリアフリー・ユニバーサルデザイン  
推進功労者表彰要領・・・・・・・・・・・・・・ 14
- 選考委員会委員名簿・・・・・・・・・・・・・・ 15

# 平成26年度 バリアフリー・ユニバーサルデザイン 推進功労者表彰受賞事例集の刊行にあたって

内閣府では、バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する優れた取組を広く普及させることを目的として、バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰を実施いたしました。

この表彰は、高齢者、障害者、妊婦や子供連れの人を含むすべての人が安全で快適な社会生活を送ることができるよう、ハード、ソフト両面のバリアフリー・ユニバーサルデザインを効果的かつ総合的に推進する観点から、その推進について顕著な功績又は功労のあった個人又は団体を表彰するものです。

関係府省庁、都道府県、政令指定都市を通じて推薦のあった33件の事例のうち、今年度は、内閣総理大臣表彰1件、内閣府特命担当大臣表彰優良賞4件、同奨励賞2件が選考され、首相官邸での表彰式において、安倍内閣総理大臣、有村内閣府特命担当大臣からそれぞれ表彰状を授与されました。

国など行政だけではバリアフリー・ユニバーサルデザインを普及させることはかないません。関係機関、関係者が広く本事例集を活用され、様々な分野においてバリアフリー・ユニバーサルデザインへの理解と関心を深め、「国民一人一人が自立しつつ互いに支え合う共生社会の実現」を目指した心温まる活動の輪が広がっていく一助となりますことを期待いたします。

平成27年2月  
内閣府



平成26年度（2014年度）バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰式  
開催日：平成26年（2014年）12月17日（水）  
開催場所：総理大臣官邸（於：大ホール）

## 講 評

バリアフリー・ユニバーサルデザイン  
推進功労者表彰選考委員会

委員長 高橋 儀 平



平成26年度のバリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰を受賞された皆様、誠におめでとうございます。

平成26年度のバリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰には全国から「施設整備」7件、「製品開発」5件、「活動等」21件、計33件の応募がありました。改めてご推薦いただいた全国の各団体・機関の皆様に深くお礼申しあげます。今年度も各事例はそれぞれ甲乙つけがたい優れたものばかりで、選考委員による慎重な書類審査を経て、全員の合意により表彰対象候補を11事例に絞り込みました。その11事例のすべてに対して現地訪問調査を行い、最終選考委員会を経て6事例を表彰候補として選考しました。現地訪問調査では応募書類の確認と同時に、応募書類では捉えられない実際の施設環境、活動状況等を詳しく知ることができました。現地調査でお世話になった皆様に深くお礼申し上げます。

本年度は「和歌山県立博物館施設活性化事業実行委員会・和歌山県立博物館」が内閣総理大臣表彰を受賞されました。この活動は視覚障害者の観賞・閲覧のバリアを解消するために、和歌山県立盲学校や和歌山県立工業高校と連携して「さわって読む図録」、「さわれるレプリカ」を制作し、結果として視覚障害者だけではなく誰にもわかりやすい博物館展示のユニバーサルデザイン化、利用者参加による開かれた博物館づくり事業において顕著な功績を上げていることが高く評価されました。内閣府特命担当大臣表彰優良賞には、盲学校の教員として、誰もが簡単なパソコン操作で点図を作成することができるフリーソフト「エーデル」を開発し、理数系図書の図やグラフ、絵本の点訳、点字教科書等の作成に貢献している「藤野稔寛」氏、喉頭癌等の病気で声帯を摘出し、声を出ることができない人のために発声補助機器を共同開発し国内で初めて製品化に成功した「株式会社電制」、ブラインドサッカーの普及活動「スポ育プロジェクト」を通して、障害者の理解や多様な個性の尊重とコミュニケーションの重要性を気づかせる活動を小・中・高等学校で展開している「日本ブラインドサッカー協会」の功績が高く評価され受賞されました。

内閣府特命担当大臣表彰奨励賞は、ユニバーサルデザインの理念に基づく小学校を誕生させ地域とともに人との繋がりを学ぶ活動を推進する「大町町立大町南小学校」と、普段は手作り量産食器の製作に関わる職人たちが工芸品同様の高い質を備え、かつ誰もが使いたくなる介護食器を創作した「てまるプロジェクト」が高く評価され受賞されました。

受賞された皆様に改めてお祝い申し上げますとともに、この受賞を契機になお一層バリアフリー・ユニバーサルデザインの普及に御協力いただくようお願いいたします。最後に、今回の表彰においてご協力をいただいたすべての皆様に、心より御礼申し上げます。今後とも全国各地のバリアフリー・ユニバーサルデザインが発展し続けることを願い、全体講評といたします。